

# 2022（令和4）年度事業報告

## 特定非営利活動法人ユナイテッドかながわ

### 1 事業活動報告

神奈川県を中心に、県内外の災害対応特化活動中間支援団体として、災害対応の技術取得の向上を試み、平時からも地域支援活動や地域との協力関係の構築、県内外の活動と情報共有及び人材育成、要配慮者への支援を行い、また、若者たちへの防災意識を高めるため、福祉防災研修や神奈川県内での研修、被災住民や非被災地域住民との交流を深める事で、継続的な防災活動支援と防災の意識の向上を行う事ができました。

また、児童支援は地域支援にもつながり、平時からの地域連携強化にもなる、被災地支援は、被災者と共に支え合える地域づくりを目指し地域支援特化団体としてのモデルケースを示し、地域防災と青少年の健全育成に寄与することができました。なお、地域支援の一つとして県内屈指の多国籍団地である県営住宅への支援活動を展開中です。

令和4年度もコロナ禍にあり、感染防止対策に努めながら以下の事業を実施しました。内容については、以下の通りです。

### 2 事業内容

#### (1) 特定非営利活動に係る活動

##### ①災害救援活動

・内 容 計6回の災害支援活動および現場調査、視察、コーディネート等を行った。

##### a. 令和4年8月東北・北陸大雨災害

令和4年8月3日から続いた大雨災害により東北および北陸などで甚大な水害が生じ、災害用物資および資機材の提供、貸出などを行った。提供先は、山形県小国町役場およびまち活かなざわ、チームふじさんである。運搬および運転等の協力者を募集し、延べ4日間3名で支援を行った。

##### b. 令和4年8月静岡県松崎町被害調査

令和4年8月台風8号伊豆半島上陸により、静岡県松崎町の川沿いに床上浸水被害が発生し、近くに滞在していた当法人理事1名が視察した。

##### c. 令和4年8月豪雨災害支援（石川県小松市）

先の東北・北陸大雨災害で物資および資機材の提供を行ったチームふじさんを経て、募集で集まった物資の提供および現地支援活動を行った。延べ4日間2名の参加があった。

##### d. 磯子区災害ボランティアセンター設置・運営訓練

令和4年9月20日、磯子区災害ボランティアセンターから招待を受け、当法人理事2名が設置・運営訓練に参加した。聞こえない方の参加もあり、同様に聞こえない理事が参加の支援を行った。

e. 令和4年9月静岡・清水区支援

令和4年9月23日から台風15号の影響により静岡県全域で記録的な大雨が発生し、土砂崩れや広域の断水、床上および床下浸水、停電などライフラインへの大きな被害が生じた。王子プロジェクトおよび災害支援 ONE TEAM、ONiGiRi と連携し、2回に渡って計約300箱の飲料水提供、配布を行った。

その後、現地住民を通して当法人に支援依頼が入り、3ヵ月間延べ29日間の現地支援活動、6回の会議出席、114人の活動があった。

f. 横浜市中区打越支援

令和4年5月1日突然崖崩れが発生し、以降6ヵ月間に渡り避難指示が出されていた。個人所有地のため公的支援が受けられず土地所有者が困窮していたところに神奈川県災害ボランティアネットワーク（以下「KSVN」という）および神奈川県レスキューサポートバイク・ネットワークと当法人が発起人として支援を呼びかけた。KSVNが中心となって支援活動を始め、当法人からは土嚢袋やブルーシートの物資提供、一輪車や軽トラなどの貸出、ボランティア呼びかけなどの広報活動等の協力を行った。また支援協力者会議にも当法人理事が継続して参加し情報共有を図った。

- ・日時 8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月  
延べ41日間
- ・場所 大和市内および神奈川県内、山形県、石川県、静岡県など災害被災地
- ・従事者人員 延べ150名
- ・受益対象者 災害被災者等
- ・支出額 計874,296円

②社会教育の推進を図る活動

- ・内容 年間を通して防災、減災の呼びかけ等の活動を行った。

5月には相模原市緑区にある名倉倉庫の敷地内にて、実践を含む資機材研修を実施した。ほか、ボランティアを対象に「学び舎UK」として計7回Zoom講習会を行い、ボランティア活動における意識向上を図った。

AEONで開催された大和市防災展にも出店し、防災および減災の呼びかけとともに当法人の活動内容について広報を行った。

- ・日時 通年 延べ10日間
- ・場所 大和市内および相模原市、神奈川県内
- ・従事者人員 延べ30名
- ・受益対象者 防災、地域防災に関心がある者（高大生など含む）
- ・支出額 計60,323円

### ③子どもの健全育成を図る活動

・内 容 年間を通して、子どもへ食および居場所の提供、学習支援などを行った。

#### a. 子ども食堂

月3～4回、第1日曜日および第2、4土曜日の昼食、毎木曜日の夕食、夏休みおよび春休み期間、その他必要に応じてバーベキュー大会やクリスマス会等、会食または弁当配布の形式で食の提供を行った。

#### b. 居場所の提供

子ども食堂の同時開催として、午前または午後に子どもと一緒にクラフト作りやイベントなどを開催し、子ども同士またはボランティアとの交流を通して、居場所の提供を計った。

#### c. 学習支援

土曜日の午前および木曜日の夕方、その他必要に応じて、ボランティアの協力を得て学校の勉強や宿題を見るなどの学習支援を行った。

#### d. 子ども体験事業

様々な経験を通して子ども同士およびボランティアとの交流により助け合い精神を育み心身の健全な成長を図るため、水族館または動物園ほか様々な体験ができるところに招待し海の体験または職業体験などの事業を展開した。

#### e. 被災地児童支援

一般社団法人やまと災害ボランティアネットワークが実施していた事業を引き継ぎ、クリスマスプレゼントの提供を呼びかけ、文具やおもちゃ、お菓子、クオカードなどを東日本大震災で被災した児童が生活する児童養護施設計4施設へ寄贈した。

・日 時 通年 延べ127日間

・場 所 大和市内および神奈川県内、東京都、宮城県

・従事者人員 延べ737名

・受益対象者 地域児童および施設児童、被災児童など延べ1,805名

・支出額 計3,543,177円

### ④まちづくりの推進を図る活動

・内 容 活動拠点かけはし・やなぎばしおよびハイム桜ヶ丘などにおいて、月1～2回を目安にフープントリーを計23回開催し、大和市柳橋地区の住民等へ食品の無料配布を行った。活動に際しては、(公社)かながわフードバンクやセカンドハーベスト・ジャパンかながわ、セカンドリーグなどからのフードロス支援品を活用するとともに、地域住民や会員、法深寺(大和市)などからも食品や衣類、消耗品などの提供を受けフードドライブを図った。

また地域の自治会とともに防災研修会を実施し、マンホール

トイレ組立訓練などを行った。ほかブルーサンタと連携しクリーン大作戦として子ども食堂利用者とともにかけはし・やなぎばし周辺のゴミ拾いを行った。

なお、県内屈指の多国籍住宅である県営住宅の一室を借り、外国世帯および困窮世帯、母子世帯などへの支援活動を展開中である。

- ・日 時 通年 延べ32日間
- ・場 所 大和市内
- ・従事者人員 延べ139名
- ・受益対象者 ボランティア活動者および地域児童、住民 延べ370名
- ・支出額 計80,380円

#### ⑤環境の保全を図る活動

- ・内 容 神奈川県相模原市南区の名倉地区や大和市柳橋地区の環境保全活動として草刈りや清掃活動を行った。また令和3年に沖縄県で発生した軽石除去、浜辺清掃の支援活動を継続した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 大和市内および神奈川県内、沖縄県
- ・従事者人員 延べ30名
- ・受益対象者 地域住民および災害被災者
- ・支出額 計1,591,475円

#### ⑥災害時などの情報化を図る事業

- ・内 容 災害時の情報共有において、IT および ICT の有効活用を図るべく、Time Tree や Google ドライブ、サイボウズ Office などのシステム導入を検討した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 大和市内および神奈川県内
- ・従事者人員 延べ15名
- ・受益対象者 災害時の情報共有および IT、ICT に関心がある者
- ・支出額 計151,600円

#### ⑦前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

- ・内 容 その他、子ども食堂とフードパントリー同時開催など、複数の事業にまたがる活動を行った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 大和市及び神奈川県内、全国各地
- ・従事者人員 876名
- ・受益対象者 地域及び被災者など住民
- ・支出額 計4,467,849円